

ISS・きぼう ウィークリーニュース

平成15年7月8日発行 第59号 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

“今週の国際宇宙ステーション（ISS）”

☆最初のISS構成要素打上げから1691日経過しました

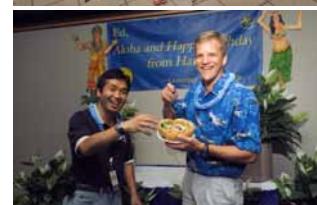
☆第7次長期滞在クルーのISS滞在は71日経過しました

☆ISS動向

ルー宇宙飛行士は、米国時間7月1日（火）、ISS上で40歳の誕生日を迎えるました。ハワイを故郷のひとつと思っているルー宇宙飛行士に対して、ハワイ州知事は彼の誕生日を祝して7月1日を'Edward Tsang Lu Day'とすることを宣言しました。

この日は地上のフライトコントロールチームもアロハシャツで勤務し、NASA中で盛大にルー宇宙飛行士の誕生日を祝いました。

また、ルー宇宙飛行士は、微小重力研究グローブボックス（MSG）を使用して行っていた、コロイド溶液中の常磁性体の集合体の構造研究（InSpace）を完了しました。



盛大にルー宇宙飛行士の誕生日を祝うNASAの職員達

若田宇宙飛行士もお祝いに参加

“今週の「きぼう」”

☆宇宙環境利用システム本部長表彰を受賞

7月1日（火）に、日本初の有人宇宙施設「きぼう」日本実験棟の開発及び有人宇宙システムの技術基盤の構築への貢献により、「きぼう」開発に参加した企業及びNASDA JEMプロジェクトチームが宇宙環境利用システム本部長表彰を受けました。

受賞した企業は次の通りです。三菱重工業（株）、川崎重工業（株）、（株）アイ・エイチ・アイ・エアロスペース、NEC東芝スペースシステム（株）、三菱電機（株）（順不同、敬称略）



表彰式



手前がノード2、奥が船内実験室（6月19日、KSCにて）

☆適合性確認試験（MEIT-III）準備状況

米国NASAケネディ宇宙センターにおいて2003年8月から9月にかけて行われる「きぼう」日本実験棟の船内実験室と第2結合部（ノード2）との適合性確認試験（MEIT-III）の準備が進められています。6月末にはGSEと呼ばれるいくつかの地上支援装置の据え付けが完了しました。

“トピック”

☆野口宇宙飛行士記者会見

スペースシャトル飛行再開に向けてNASAで訓練を続けている野口宇宙飛行士が一時帰国しました。7月7日（月）にはNASDA東京事務所のNASDA-iにて記者会見が行われました。

集まった報道陣に対し、「コロンビア号事故から5ヶ月、我々宇宙飛行士はまだ完全には事故の深い悲しみから立ち直ってはいないのですが、フライト再開に向けて努力しているところです。我々が搭乗するSTS-114は飛行再開第1号となる予定です。我々クルー4名は、コロンビア号事故調査委員会の最終報告を待ち、それを基に打上げに向けてのロードマップを作成し、具体的に訓練および打上げに向けたスケジュールを固めていきます。」と挨拶しました。

野口宇宙飛行士は、帰国中に、NASDA内外に向けシャトル飛行再開に向けた訓練状況、コロンビア号事故調査状況などについて報告を行う予定です。

記者会見の様子はこちらをご覧ください。<http://jem.tksc.nasda.go.jp/iss/ulf1/030707.html>

2003年10月1日から宇宙開発事業団は独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）に移行します。



会見を行う野口宇宙飛行士

問い合わせ先：宇宙開発事業団 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター TEL: 029-868-3074

ISS・きぼうホームページ <http://jem.tksc.nasda.go.jp/> Eメール kibokoho@nasda.go.jp

※「ISS・きぼう ウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本 ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。

